

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 システムズ・デザイン株式会社  
 コード番号 3766 URL <http://www.sdci.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細谷 徳男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部長 (氏名) 関根 秀樹

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

TEL 03-5300-7800

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,515	△3.6	△20	—	△0	—	△12	—
22年3月期第2四半期	2,609	△22.3	5	△95.2	10	△91.6	△10	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△3.29	—
22年3月期第2四半期	△2.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	4,404		3,367		75.7		910.58
22年3月期	4,520		3,411		74.7		922.53

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 3,334百万円 22年3月期 3,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,613	0.8	149	66.5	175	53.0	92	—	25.20

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無  
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 3,940,000株 22年3月期 3,940,000株  
② 期末自己株式数 23年3月期2Q 278,361株 22年3月期 278,361株  
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 3,661,639株 22年3月期2Q 3,661,639株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第2四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、新興国の経済成長を背景に穏やかな回復が見られたものの、円高の進行や株価の低迷などから、景気回復の先行きは不透明な状況が継続しております。

当社グループの属する情報サービス分野においても、企業のIT投資は徐々に増加の傾向が見られますが、依然として受注環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは主要顧客との信頼関係に基づく案件受注、営業力の強化、新規採用の抑制、固定費の削減、その他諸経費の圧縮等を行い利益確保を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,515,030千円（前年同四半期比3.6%減）、営業損失は△20,701千円（前年同四半期は5,717千円の営業利益）、経常損失は△168千円（前年同四半期は10,055千円の経常利益）、四半期純損失は△12,052千円（前年同四半期は△10,488千円の四半期純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 情報処理サービス事業

情報処理サービス事業につきましては、新規案件の受注確保に全力を尽くしてまいりましたが、継続案件の縮小もあり当面の業務量の不足が継続し厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は784,287千円（前年同四半期比11.6%減）、営業損失△20,758千円（前年同四半期は5,752千円の営業利益）となりました。

## ② システム開発事業

システム開発事業につきましては、主要顧客からの受注案件が徐々に増加し、技術者の待機状態が解消してまいりましたが、低価格化、不採算案件の発生等の影響により利益の減少がありました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,473,006千円（前年同四半期比0.1%減）、営業損失△38,287千円（前年同四半期は△19,955千円の営業損失）となりました。

## ③ アッセンブリー事業

アッセンブリー事業につきましては、主要顧客からの受注が徐々に回復し順調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は257,736千円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益38,344千円（同92.5%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は、現金及び預金の増加と受取手形及び売掛金の減少により前期末比116,575千円減の4,404,193千円となりました。純資産は、利益剰余金等の減少により前期末比44,112千円減の3,367,040千円となり、自己資本比率は75.7%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失が△11,390千円となり、売上債権の減少254,343千円、未払金の減少△62,771千円により、当第2四半期連結会計期間末には2,221,826千円となりました。その結果資金残高は、前連結会計年度末に比べ165,923千円増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は198,874千円（前年同四半期は154,283千円の獲得）となりました。これは主に売上債権の減少254,343千円、未払金の減少△62,771千円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動のより使用した資金は△3,658千円（前年同四半期は△104,797千円の使用）となりました。これは主に子会社株式の取得による支出△4,250千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は△29,293千円（前年同四半期は48,501千円の資金の使用）となりました。これは配当金の支払額によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成22年11月2日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. その他の情報

## (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

## 1. 簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却額を期間按分して算定する方法によっております。

② 一般債権の貸倒見積高の算定方法は、四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法は、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## 2. 特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

## 会計処理基準に関する事項の変更

## 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失はそれぞれ761千円増加し、税金等調整前四半期純損失は8,374千円増加しております。

## 表示方法の変更

## 四半期連結損益計算書

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

## (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,221,826	2,055,902
受取手形及び売掛金	864,913	1,119,257
商品及び製品	11,983	11,604
仕掛品	117,832	85,734
原材料及び貯蔵品	10,661	16,205
その他	109,875	120,399
貸倒引当金	△713	△562
流動資産合計	3,336,379	3,408,541
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	328,506	328,506
減価償却累計額	△186,192	△180,020
建物及び構築物(純額)	142,313	148,485
機械装置及び運搬具	99,340	149,624
減価償却累計額	△93,745	△141,285
機械装置及び運搬具(純額)	5,594	8,339
土地	112,278	112,278
その他	160,986	170,007
減価償却累計額	△136,143	△137,778
その他(純額)	24,842	32,228
有形固定資産合計	285,029	301,332
無形固定資産		
のれん	158,095	168,263
その他	74,268	85,357
無形固定資産合計	232,364	253,620
投資その他の資産		
投資有価証券	72,500	76,477
繰延税金資産	154,745	153,138
その他	323,173	327,658
投資その他の資産合計	550,419	557,274
固定資産合計	1,067,813	1,112,227
資産合計	4,404,193	4,520,768

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	28,969	55,530
未払金	194,525	257,296
未払法人税等	7,673	8,197
賞与引当金	149,184	155,112
役員賞与引当金	3,582	7,715
受注損失引当金	—	15,479
その他	89,692	71,656
流動負債合計	473,626	570,987
固定負債		
退職給付引当金	497,174	476,009
役員退職慰労引当金	66,352	62,618
固定負債合計	563,526	538,628
負債合計	1,037,152	1,109,615
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	333,906	333,906
資本剰余金	293,182	293,182
利益剰余金	2,780,101	2,821,447
自己株式	△85,218	△85,218
株主資本合計	3,321,972	3,363,318
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,255	14,655
評価・換算差額等合計	12,255	14,655
少数株主持分	32,811	33,179
純資産合計	3,367,040	3,411,153
負債純資産合計	4,404,193	4,520,768

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,609,459	2,515,030
売上原価	2,139,192	2,091,629
売上総利益	470,267	423,401
販売費及び一般管理費	464,550	444,102
営業利益又は営業損失(△)	5,717	△20,701
営業外収益		
受取利息	138	411
受取配当金	1,807	826
不動産賃貸料	480	480
助成金収入	—	15,428
雑収入	2,185	3,548
営業外収益合計	4,611	20,693
営業外費用		
不動産賃貸原価	182	160
投資事業組合運用損	90	—
営業外費用合計	273	160
経常利益又は経常損失(△)	10,055	△168
特別利益		
投資有価証券売却益	117	—
保険解約返戻金	6,627	—
受取保険金	1,000	—
特別利益合計	7,745	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,574
投資有価証券評価損	559	1,167
投資有価証券売却損	466	—
保険解約損	9,617	—
事務所移転費用	—	867
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7,612
特別損失合計	10,643	11,221
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,157	△11,390
法人税等	16,566	1,029
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△12,420
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,079	△367
四半期純損失(△)	△10,488	△12,052



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,157	△11,390
減価償却費	28,160	26,575
のれん償却額	17,349	14,417
有形固定資産除却損	—	1,574
投資有価証券売却損益(△は益)	349	—
投資有価証券評価損益(△は益)	559	1,167
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7,612
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,050	△5,928
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,159	△4,133
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24,134	21,164
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,638	3,733
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△164	151
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△15,479
受取利息及び受取配当金	△1,946	△1,237
投資事業組合運用損益(△は益)	90	△1,199
売上債権の増減額(△は増加)	284,682	254,343
未払金の増減額(△は減少)	△84,516	△62,771
たな卸資産の増減額(△は増加)	△55,825	△26,932
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,105	△26,561
その他	△289	25,080
小計	187,064	200,188
利息及び配当金の受取額	1,945	1,236
法人税等の支払額	△34,725	△2,549
営業活動によるキャッシュ・フロー	154,283	198,874
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
投資有価証券の取得による支出	△200	—
投資有価証券の売却による収入	915	—
有形固定資産の取得による支出	△8,106	—
無形固定資産の取得による支出	△2,255	△758
貸付けによる支出	△500	—
貸付金の回収による収入	2,349	1,350
投融資の回収による収入	3,000	—
子会社株式の取得による支出	—	△4,250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,797	△3,658
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△47,601	△29,293
少数株主への配当金の支払額	△900	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,501	△29,293
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	984	165,923
現金及び現金同等物の期首残高	2,101,080	2,055,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,102,064	2,221,826

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	情報処理サービス事業 (千円)	システム開発事業 (千円)	アッセンブリー事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	886,833	1,473,921	248,704	2,609,459	—	2,609,459
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	886,833	1,473,921	248,704	2,609,459	—	2,609,459
営業利益又は営業損失(△)	5,752	△19,955	19,920	5,717	—	5,717

(注) 1. 事業は製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品は下記のとおりであります。

事業区分	主要製品
情報処理サービス事業	データソリューション、データ&ライブラリー、システムオペレーション、CTI
システム開発事業	ソフトウェア開発受託、システムコンサルティング、システム導入・運用サポート
アッセンブリー事業	パッケージソフトの製造配送

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

## 〔セグメント情報〕

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「情報処理サービス事業」、「システム開発事業」及び「アッセンブリー事業」の3つを報告セグメントとしております。

「情報処理サービス事業」は、データソリューション、データ&ライブラリー、システムオペレーション、CTIを行っております。「システム開発事業」は、ソフトウェア開発受託、システムコンサルティング、システム導入・運用サポートを行っております。「アッセンブリー事業」は、パッケージソフトの製造配送を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	情報処理サービス	システム開発	アッセンブリー	合計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	784,287	1,473,006	257,736	2,515,030	—	2,515,030
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	784,287	1,473,006	257,736	2,515,030	—	2,515,030
セグメント利益又は損失(△)	△20,758	△38,287	38,344	△20,701	—	△20,701

（注）セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## （追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。